



Giovanni Gabrieli

ヴェネツィアの栄華 サン・マルコ寺院の壮麗なる響き

G. ガブリエリ没後 400年記念企画

Program

- G. ガブリエリ / 14声のモテット《集いにて》 第1旋法による8声のカンツォン
- A. ガブリエリ / 4声のモテット《来れ、キリストの花嫁よ》
- G. ピッキ / 8声のカンツォン
- ほか

Ensemble Principi Venetiani

アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ
ディレクター 笠原 雅仁

笠原 雅仁
大内山 薫 齋藤 佳代
頼田 麗
上野 訓子
松田 洋介 日生 貴之 織田 貴浩
野澤 知子

コルネット / テオルゴ
バロックヴァイオリン
ヴィオラ・ダ・ガンバ
コルネット
サクバット
オルガン

2012. 12. 21. **金**

19:00 開演 18:30 開場

京都文化博物館 別館ホール

地下鉄「烏丸御池駅」下車
【5】番出口から三条通りを東へ徒歩3分
阪急「烏丸駅」下車
【16】番出口から高倉通りを北へ徒歩7分
京阪「三条駅」下車
【6】番出口から三条通りを西へ徒歩15分



Voice Specitive

声楽アンサンブル ヴォイスペクティヴ
ディレクター 真木 喜規

北爪 かおり 榎本 愛実
米谷 優 船元 泰子
田中 伸一 真木 喜規
時宗 務 津國 直樹

ソプラノ
アルト
テノール
バス

チケット

前売 3,000 円
当日 3,500 円
学生 1,500 円
プリンチピ友の会 2,500 円

主催 アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ
お問い合わせ オフィス・プリンチピ・ヴェネツィアーニ

(Tel/Fax) 075-493-5262 principi-venetiani@hotmail.co.jp
<http://www.principivenetiani.blogspot.com/>



ー ジョヴァンニ・ガブリエリ (1554-?? - 1612/8/12)

今年イタリア・ヴェネツィアの代表的な作曲家ジョヴァンニ・ガブリエリの没後400周年にあたります。ルネサンス時代からバロック時代の音楽へと移りゆく非常に重要な時期に、ガブリエリはヴェネツィアのサン・マルコ寺院などで主に作曲家、そしてオルガン奏者として活躍しました。伝統的でありながら、且つ様々な試みを演奏に用いた彼の作曲スタイルはシュッツやプレトリウスなどの弟子たちによって継承され、バッハに至るドイツ・バロックの端緒ともなりました。小編成から大編成へと、空間を利用した多様な編成からなる合唱曲や器楽曲の豪華で壮麗な音楽は、ヴェネツィア楽派の最盛期を彷彿とさせます。そのガブリエリの作品を中心に、ヴェネツィアで同じ時期に活躍した作曲家の声楽曲や器楽曲など織り交ぜ、16、17世紀教会音楽の魅力の真髄をご紹介します。

Ensemble Principi Venetiani
アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ

ホルネット奏者の上野訓子と声楽家の笠原雅仁を中心にフランスのパリにて結成され、ヨーロッパの主要なバロックオーケストラや、アンサンブル等との共演やCD、テレビ、ラジオ収録などに多数参加する等、初期バロックの音楽、特にイタリア音楽やイタリアに影響を受けた(イタリアの様式を受け継いだ)ドイツ音楽などのレパートリーを中心に演奏活動を行ってまいりました。2008年、夏に拠点をパリから京都に移し、西洋の歴史、文化の発展に大きな役割を果たした初期バロック音楽の素晴らしさを、私たちは皆様にご紹介していきたいと思っております。私たちは、当時使用されていた楽器の復元楽器を演奏いたしますが、その時代の音楽様式の研究も行なっています。古楽をただ演奏するというだけではなく、スタイルをより深く掘り下げて研究することで、さらに豊かな響きや音色を備えた音作りを目指し、聞き手の方々と音楽の素晴らしさを共感できる空間を創り出していけるように努力を続けています。



笠原 雅仁 (アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ主宰)

武蔵野音楽大学声楽科卒業。声楽を宮本昭太、有村祐輔の各氏に師事。英国王立音楽大学、大学院古楽科にてナイジェル・ロジャース、スティーブン・ロバーツの各氏に声楽を、ヤコブ・リンドベルイ氏にリュートを師事。パリ市高等音楽院古楽科にてホルネットをジャン・テュベリ氏に師事。「エリマ」、「カンタル・ロンターノ」等と共演、録音に参加する等、国内外で活躍中。



Voice-Spective

声楽アンサンブル ヴォイスペクティヴ

[ヴォイスペクティヴ]は関西を中心に活動する声楽家で構成されており、古楽から近現代に至るあらゆる声楽曲において、設計図としての楽譜から、立体的な音像と音楽を構築する事を目的としている。

純粋に音楽としての適切な解釈を目指し、言語(詩的表現)との関係性、その時代性からくる調律とそこから生じる和声感、作品の求める表現力を如何にアプローチし具現化するかをコンセプトとして活動中。

真木 喜規 (ヴォイスペクティヴ・ディレクター)

大阪音楽大学卒。小編成の声楽アンサンブルや古楽アンサンブル等に多数参加。ソリストとしても教会音楽などを中心に活躍し、2002年にはライブツィヒバッハ音楽祭にソリストとして演奏した。本年7月にはパーセルのオペラ等でもオーケストラ・アンサンブル金沢と共演するなど全国で活躍している。現在、神戸市混声合唱団団員。日本テレマン協会、パーセルプロジェクト等に参加する他大阪フィルハーモニー合唱団等で合唱指導を担当している。